

「文理融合21世紀型リベラル・アーツ」 をサポートする附属図書館を目指して

平成18年12月
学術・情報機構
図書・情報課
附属図書館運営委員会

リベラル・アーツと図書館

『リベラル・アーツ教育の目標の一つは、学生が自立した学習ができるように支援することである。別な言葉で言えば、学生の自己教育をサポートすることである。(中略)』

リベラル・アーツ教育のインフラこそは図書館であると言ってよい。すぐれた図書館を持つことは、すぐれたリベラル・アーツ教育を行うための必要条件である。』

(ICU<リベラル・アーツ>のすべて 絹川正吉編著 東信堂 2002年発行 より)

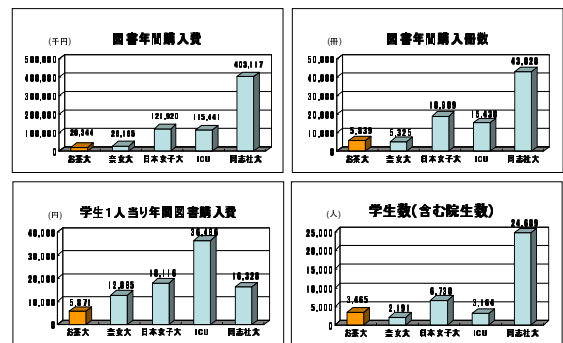
2

附属図書館の機能

1. 資料(含む大学歴史資料)の保存
2. 資料サービス(含む電子的資料)の提供
→ 図書一元化
3. 学習・教育環境の提供
→ 21世紀型リベラル・アーツ支援
→ ラーニング・コモンズ スペース

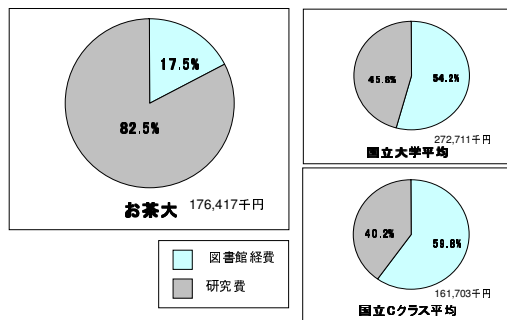
3

お茶の水女子大学附属図書館 実態 学生用図書購入費及び年間購入冊数に関して



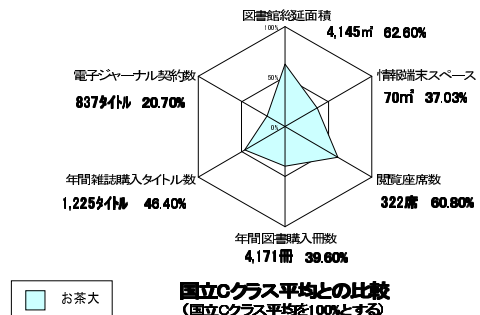
「日本の図書館」統計と名 第 2005 日本図書館協会編集・発行 に基づく

お茶の水女子大学附属図書館 実態 資料費出所割合



「平成16年度大学図書館実態調査」文部科学省研究振興局情報課 に基づく

お茶の水女子大学附属図書館 実態 施設等



図書館における ラーニング・コモンズ

図書館は、授業で教員から教わるといった知識の理解を深めるための場所・資料を提供するだけでは不十分となっている。学生が自主的に問題解決を行い、自分の知見を加えて発信するという学習活動全般を支援するための施設とサービス・資料を提供する必要があるということなのである。

マウント・ホリヨーク大学は学生数2千人規模の比較的小規模な女子大学である。2003年秋、図書館に隣接する築13年の建物を改築して、ラーニング・コモンズをオープンした。50台のPCを設置し、無線LANでのアクセスも可能となっている。3台のPCは大画面ディスプレイを備え、グループ・インストラクションができるようになっている。ラーニング・コモンズへの入口でもある図書館エントランスにはカフェがあり、ラーニング・コモンズと相まって多くの学生が時間を過ごしたくなるワン・ストップ・ショップとなっている。

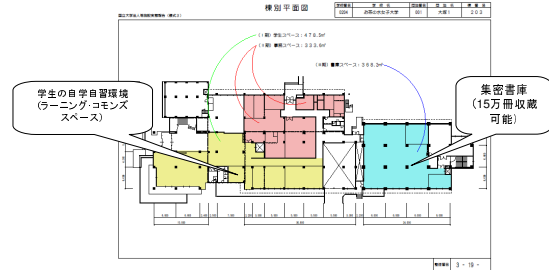
(インフォメーション・コモンズからラーニング・コモンズへ: 大学図書館におけるネット世代の学習支援 / 米澤誠 「カレントアウェアネス 国立国会図書館編」No.289 2006年9月20日より)

7

リベラルアーツ支援図書館 図書館改修計画

集密書庫とラーニング・コモンズの創設

附属図書館1階のジェンダー研究センター移転後の跡地を利用し、学生の自学自習環境(ラーニング・コモンズスペース)を創設する。併せて、現事務室スペース部分を集密書庫とし、15万冊の収蔵を可能とする。



8

資料の保存、図書一元化

ジェンダー研究センター移転後の跡地を事務スペースとして利用し、現事務スペースに集密書庫を増設し、部局図書の一元的な受け皿とする。

【図書一元化の目的】

- 文理解合21世紀型リベラルアーツ推進のため
- 学生の学習・教育環境整備のため
- 学内所蔵資料の共同利用推進のため

附属図書館の収蔵可能冊数 (面積 約4,145㎡)

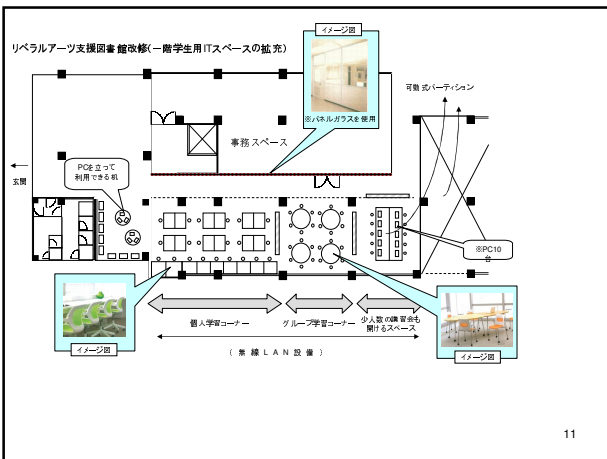
	収蔵冊数	収蔵可能冊数 (収蔵率)
現在	160,000冊	200,000冊 (80%)
集密書庫を増設した場合		150,000冊
計	全学蔵書冊数 600,000冊	350,000冊 (171%) ※全学蔵書の58%は図書館で一元化可能

9

図書一元化の方策とスケジュール

1. 全学の図書資料の所在状態を明らかにする必要がある。平成18年4月現在、全蔵書60万冊のうち、約32万冊の資料がデータベース化されていない。これを平成18年度、19年度で全件データベース化する。
2. データベース化したリストを元に蔵書点検を全学的に実施する。(平成19年度)
3. 集密書庫増設を全学計画として推進・実施する。(平成18年度～)
4. ②の点検作業に並行して集中化すべき資料のリストアップを部局から提出してもらおう。(平成19年度～)
5. なお、集中化にあたっては、重複した資料は原則として廃棄する。

10



11

スケジュール案

	内容	必要経費概算
第1期 ① H19.2～19.3	ジェンダー研跡の間仕切り撤去、内装	
以下予定		
第1期 ② H19年4月	学生用スペースのオープン 事務室移転、必要什器購入	必要経費: 1,038千円 事務室移転経費(788千円) 必要什器購入費(250千円)
第2期 ① H19年5月～7月	現事務室部分の間仕切り撤去、内装 現事務室部分に既存の集密書庫移設 (23,000冊収蔵可能)	必要経費: 19,000千円 現事務室改修(18,000千円) 集密書庫移設(1,000千円)
第2期 ② H19年度	現事務室部分に集密書庫を新規設置 最終的に15万冊の収蔵を目指す	必要経費: 44,820千円 集密書庫新設(44,820千円)
第3期 H19.～20年度	図書館1階ラウンジ、2階部分の改修	

12